

各 位

平成 19 年 5 月 30 日  
近畿日本ツーリスト株式会社  
総務・広報部 担当：立花  
(TEL : 03 - 3257 - 1661)

### 旅行取扱状況の概観（平成 19 年 4 月分）

海外旅行の取扱額では、団体旅行は学生団体旅行が取り扱い不振で大きく前年実績を下回ったが、一般団体が取り扱い好調で前年実績を大幅に超えたため、合計では前年実績を大きく上回った。企画旅行では、その他企画旅行は好調に推移し大きく前年実績をオーバーしたが、ホリデイの取り扱いが鈍化し前年実績を下回ったため合計は前年実績をわずかに下回る結果に終わった。個人旅行は、航空券の取扱いは好調であったがその他の取り扱いが低調で前年実績には達せず 3 ヶ月ぶりの前年比マイナスとなった。海外旅行合計は、好調な団体旅行が企画旅行、個人旅行の落ち込みをカバーし、前年比 102.1%と 12 ヶ月連続の前年比プラスで推移した。

国内旅行の取扱額では、団体旅行は一般団体の取り扱いが大きく落ち込み、学生団体も取り扱い件数が減少し低調、合計では前年実績を大きく下回り、3 ヶ月ぶりの前年比マイナスとなった。企画旅行は、その他企画旅行は低調であったがメイトの取り扱いが急増し大きく前年を超えたため、合計では 4 ヶ月連続の前年比プラスと好調に推移した。個人旅行では J R 券、航空券、宿泊券の取り扱いが伸び悩んだため、合計では前年実績を割り込み 4 ヶ月ぶりの前年比マイナスとなった。国内旅行は、団体旅行、個人旅行の落ち込みが影響し、合計では前年比 99.3%と 4 ヶ月ぶりに前年実績を下回る結果に終わった。

外国人旅行は依然として個人旅行の取り扱いが好調で、前年比 127.1%と 6 ヶ月連続で前年実績を上回った。

4 月の総取扱額は、国内やや低調、海外堅調、外国人旅行好調で、前年比 100.5%とほぼ前年並みの実績を確保し 4 ヶ月連続の前年比プラス。

#### 1. 海外旅行

##### (1) 団体旅行

一般団体は、取扱団体の件数増加に前年の取り扱い不振の反動も加わり、大きく前年実績を超えた。学生団体は、修学旅行、研修旅行等の取り扱いが共に減少し前年実績を大幅に割り込んだ。団体の方面別取り扱いでは、韓国、台湾、香港、アメリカの取り扱いが好調であった。

##### (2) 企画旅行

好調に推移していたホリデイは取扱額前年比 99.6%、取扱人数前年比 94.8%と、共に前年実績割れとなり、取扱額では 7 ヶ月ぶりの前年比マイナスとなった。ホリデイの方面別取り扱いでは、中国、韓国、台湾、香港が好調であった。

#### 2. 国内旅行

##### (1) 団体旅行

好調な取り扱いを続けていた一般団体は取り扱いが鈍化し、大幅な前年割れとなった。学生団体も、校外学習等の取扱いは好調であったが、修学旅行の取り扱いが大きく減少したため、2 ヶ月ぶりの前年比マイナス。

##### (2) 企画旅行

メイトはゴールデンウィークの需要を取り込み、取り扱い好調で取扱額前年比 111.1%、取扱人数前年比 106.1%と共に前年実績を上回り 4 月連続の前年比プラスと好調に推移した。商品別の状況は、北海道、沖縄、東京地区商品、関西地区商品が好調であった。

(以 上)